環境経営レポート 2024

対象期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

発行日　2024 年 6 月 28 日

いわて第２クリーンセンター施設写真

エコアクション 21

認証番号 0004632

環境王国「いわて」を担う

いわて県北クリーン株式会社

もくじ

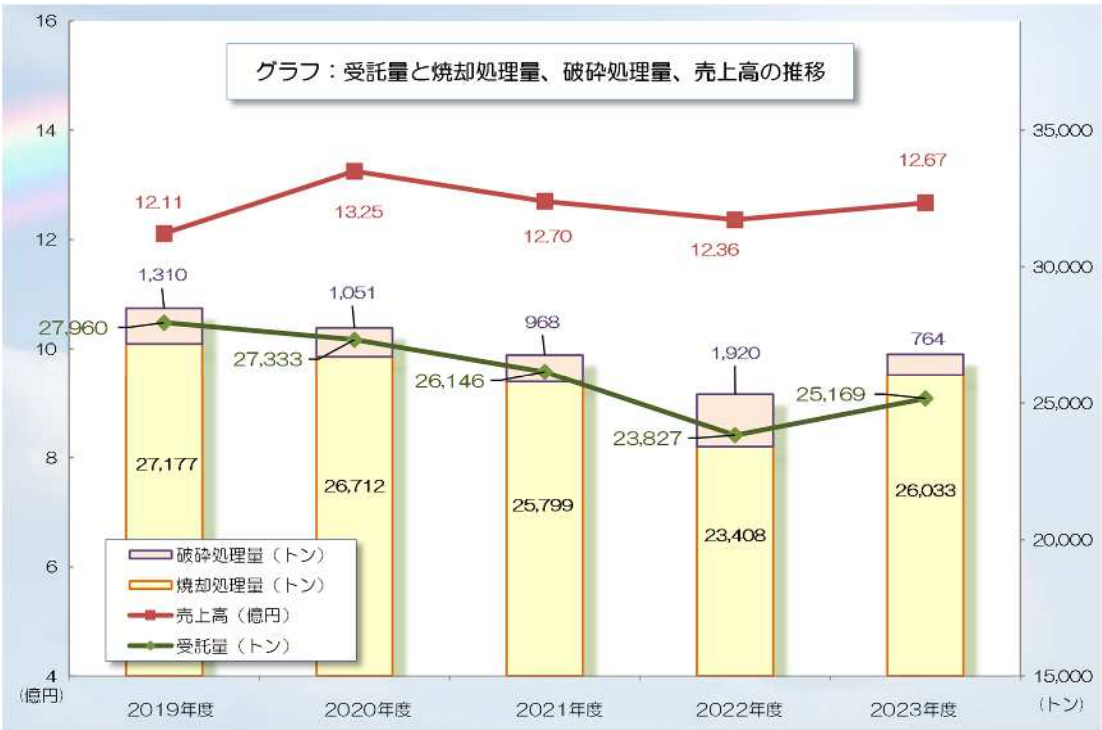
1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
2. 事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
3. 施設概要と特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
4. 許可品目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
5. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
6. 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
7. 役割と責任・権限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
8. 環境目標と活動実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
9. 環境活動の結果と評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・・・ P13
11. 代表者による全体の評価と見直し・・・・・・・・・・・ P13
12. イベント、セミナー、教育等・・・・・・・・・・・・・・ P13
13. 資格・免許・認定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

1. 会社概要（2024 年６月１日現在）

会社名　　：　いわて県北クリーン株式会社
施設名　　：　いわて第２クリーンセンター
所在地　　：　〒 028-6505　岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第 20 地割 48 番地 34
代表者　　：　代表取締役　生 藤　勇
業務開始　：　2009 年４月（設立：2006 年４月）
資本金　　：　9,000 万円
株主　　：　株式会社タクマ　・　株式会社タクマテクノス　・　西松建設株式会社
事業内容　：　産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物処理業・売電事業
従業員数　：　42 名
事業面積　：　約 70,000 ㎡
ＥＡ21 認証登録範囲　：　全組織　・　全活動
環境管理責任者　：　村田　英敏　・　コミュニケーション窓口　：　田村　一人
TEL　0195-42-4085　　FAX　0195-42-4550
Mail　info@iwate2cln.co.jp　　URL　https://www.iwate2cln.co.jp

会社の沿革

2006 年　4 月 12 日	株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
2007 年 10 月 30 日	環境大臣による廃棄物処理センター指定
2008 年　3 月 29 日	産業廃棄物処理施設 設置許可
2009 年　1 月　7 日	産業廃棄物処理施設 処分業許可（許可番号：00329146787）
2009 年　1 月　7 日	特別管理産業廃棄物処理施設 処分業許可（許可番号：00379146787）
2009 年　4 月　1 日	事業開始
2009 年　6 月　8 日	一般廃棄物処理施設 処分業許可
2009 年　6 月 30 日	基準適合産業廃棄物処理業者認定（中間処理★★）
2010 年　2 月 15 日	エコアクション 21 取得
2012 年　8 月 30 日	いわて地球環境にやさしい事業所認定（★★★★）
2014 年　7 月 23 日	産業はお気物処理施設 設置許可（破砕施設 1）
2014 年 11 月 11 日	産業廃棄物処分業 事業範囲 変更（破砕中間処理追加）
2015 年　5 月 15 日	産業廃棄物処理施設 設置許可（破砕中間処理施設設置 2）
2015 年　5 月 28 日	産業廃棄物処分業許可品目追加（燃え殻、動物のふん尿）
2022 年　3 月　4 日	九戸村、タクマエナジーと「CO_2 フリー電力の普及等に関する協定」締結
2022 年　5 月 13 日	産業廃棄物処分業 事業範囲 変更（圧縮処理追加）
2022 年 11 月 29 日	産業廃棄物収集運搬業（岩手県）（許可番号：00309146787）
2023 年　3 月　2 日	特別管理産業廃棄物収集運搬業（岩手県）（許可番号：00359146787）
2023 年　6 月 23 日	基準適合産業廃棄物処理業者認定（中間処理★★★、収集運搬★★）
2023 年　9 月 12 日	熱回収施設設置者認定
2024 年　1 月　6 日	優良産業廃棄物処理業者認定制度



2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とする PFI 事業で運営を行っており、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「溶融設備」・「破砕設備」・「圧縮設備」によって、様々な性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、安定的かつ安心な施設となっています。

3. 施設概要と特徴

施設名称　　：いわて第２クリーンセンター
設置規模　　：ロータリーキルン＆ストーカ炉 87.9ｔ/日　×1 基
　　燃料式表面溶融炉 13t/日　×1 基
　　破砕施設　×3 施設
　　圧縮施設　×1 施設
ボイラー型式　　：三胴式廃熱ボイラー
最高使用圧力　：3.30 MPa
常用使用圧力　：2.90 MPa
蒸気温度　　：241℃
最大蒸発量　　：10.2ｔ/ｈ
タービン形式　：復水タービン
最大発電出力　：840ｋW
排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類(ng-TEQ/㎥N)	1.0	0.1
硫黄酸化物(ppm 以下)	3,761（K 値 17.5）	50（K 値 0.25）
窒素酸化物(ppm 以下)	250	100
塩化水素(ppm 以下)	430	80
ばいじん(g/㎥N 以下)	0.08	0.02

多種多様な廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の適正処理

◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
- 焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値）　※法規制値 800℃以上
- 溶融炉内温度 1300℃以上

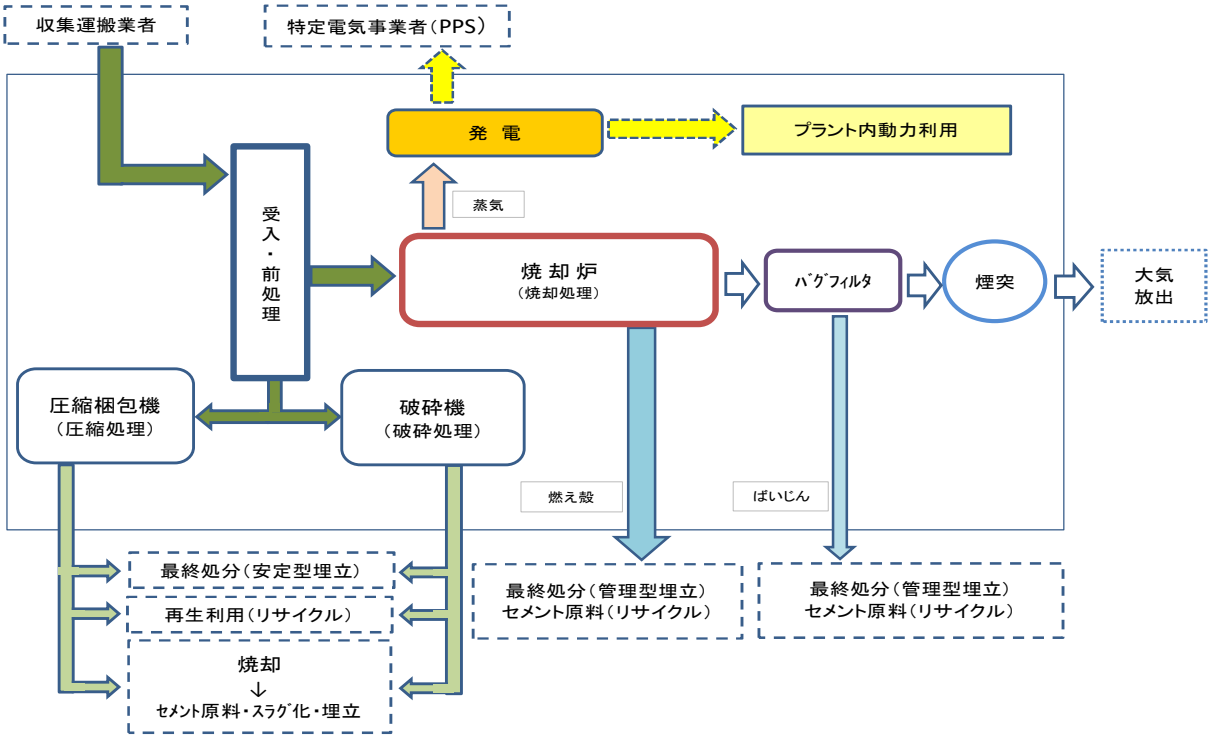
省エネ・資源リサイクルの促進

◎ 蒸気タービン発電機　最大 840ｋW（発電設備）　※廃熱ボイラー蒸気利用
　施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電

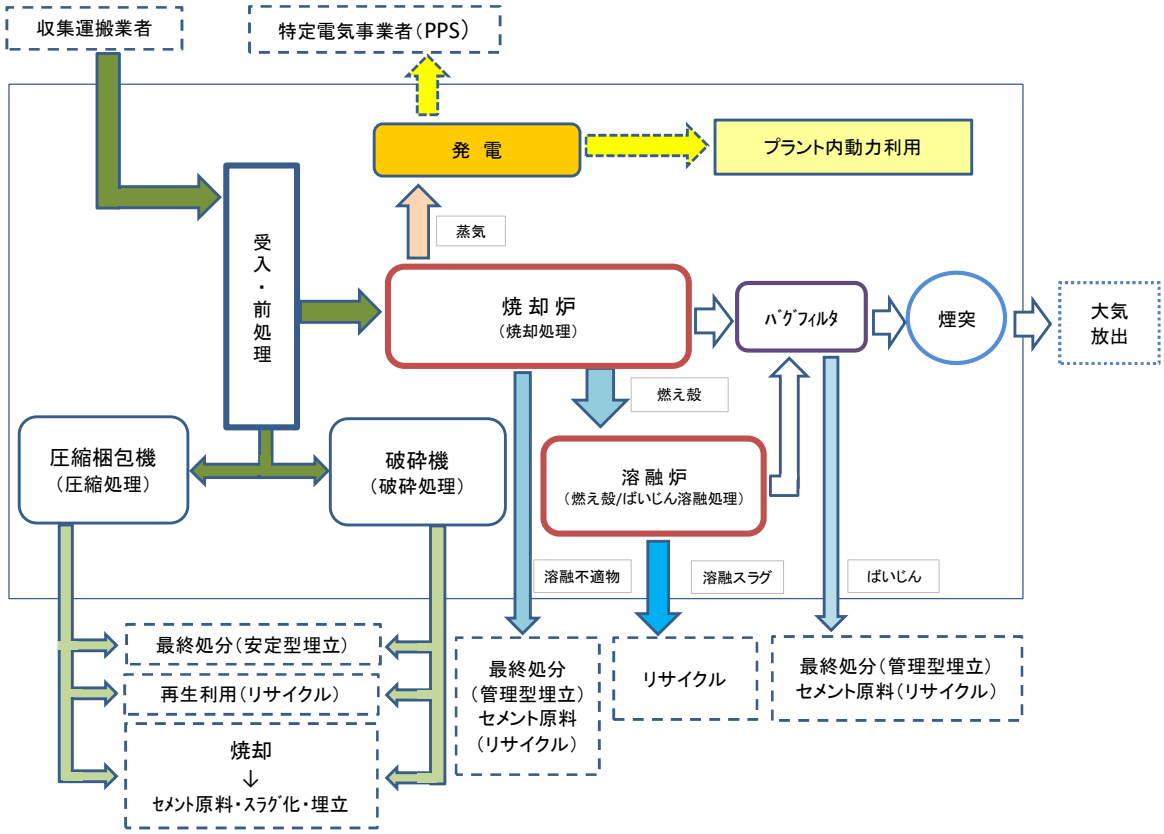
周辺環境への配慮

◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策床基礎の導入
◎ 臭気を外部に放出させない換気システム

いわて第2クリーンセンター
いわて県北クリーン株式会社　処理フロー（焼却･破砕･圧縮）



いわて第2クリーンセンター
いわて県北クリーン株式会社　処理フロー（焼却･破砕･圧縮･溶融）



4. 許可品目

許可取得自治体	岩手県	岩手県	岩手県	岩手県	二戸地区広域行政事務組合
許可の種類	産業廃棄物処分業	特別管理産業廃棄物処分業	産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物収取運搬業	一般廃棄物処理業
許可番号	00329146787	00379146787	00309146787	00359146787	-
許可の年月日	R6(2024).1.7	R6(2024).1.7	R4(2022)11.29	R5(2023)3.2	R5(2023).6.8
許可期限	R13(2031).1.6	R13(2031).1.6	R9(2027)11.28	R10(2028)3.1	R7(2025).6.7

許可の種類	産業廃棄物処分業				特別管理産業廃棄物処分業		産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物収集運搬業	一般廃棄物処理業
業の区分/許可品目	中間処理（焼却）	中間処理（溶融）	中間処理（破砕）	中間処理(圧縮)	中間処理（焼却）	中間処理（溶融）			中間処理（焼却）
燃え殻	○				○		○	○	
汚泥	○	○			○	○	○	○	
廃油	○				○		○	○	
廃酸	○				○		○	○	
廃アルカリ	○				○		○	○	
廃プラスチック類	○	○	○	○			○		
紙くず	○		○	○			○		
木くず	○		○				○		
繊維くず	○		○	○			○		
動植物性残さ	○						○		
ゴムくず	○		○				○		
金属くず	○		○				○		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	○		○	○			○		
動物のふん尿	○						○		
動物系固形不要物	○						○		
がれき類			○				○		
鉱さい							○		
感染性廃棄物					○			○	
廃石綿等								○	
ばいじん								○	
一般廃棄物									○

5. 環境経営方針

《 基本理念 》

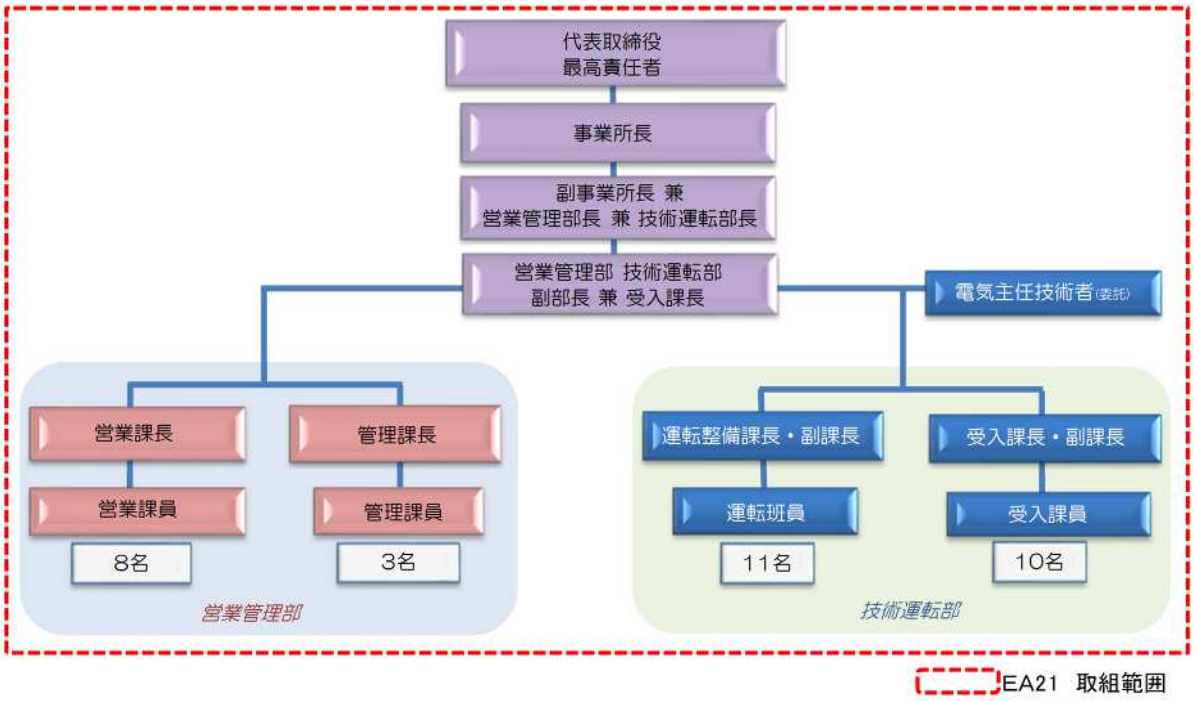
いわて県北クリーン株式会社は、多種多様な廃棄物を安全かつ適正に処理する事業を社会インフラとして捉え、地域の社会経済活動を支えるとともに、省エネ・創エネの促進に努めます。また、災害時には被災地の復興に最大限の協力をします。

《 行動指針 》

1. 廃棄物を資源として捉えたリサイクルや、熱エネルギーを有効に利用した環境負荷の低減による地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。
2. 事業活動にかかわる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
   （1）安定した電力供給に努めます。
   （2）二酸化炭素の排出量削減に努めます。
   （3）廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
   （4）水の使用量削減に努めます。
   （5）化学物質の適正使用に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境経営方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を求め、積極的に取り組みます。

制定：2010年5月1日
改訂：2020年7月1日
いわて県北クリーン株式会社
代表取締役　生藤　勇

6. 組織図（2024 年６月１日現在）



7. 役割と責任・権限

役　　割	担　当　者	役　割　と　責　任　・　権　限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組みに対する資源を用意 ④環境方針を作成する
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告 ③必要な教育訓練を計画し実施
ＥA21 事務局	担当者	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へＥA21 の目標数値を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告
防災責任者	防火管理者	①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	副事業所長	①安全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	営業管理部長 技術運転部長	①取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	①取組み項目に対して積極的に実施 ②環境保全活動への積極的な参加

8. 環境目標と活動実績

中長期の環境経営目標の策定

No.	項　目	単　位	基準値 2023年	中期目標 2024年度	中期目標 2025年度	長期目標 2026年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	7.76	7.50	6.00	5.50
2	重油使用量の削減	ℓ/t	1.00	0.98	0.96	0.94
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	2.65	2.80	2.80	2.80
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.30	0.26	0.30	0.30
5	上水使用量の削減	㎥/t	0.30	0.22	0.21	0.21
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO_2/t	12.9	12.2	12.0	11.8
7	発電電力量の増加	kWh/t	197.9	229.0	230.0	2310.0
8	廃棄物受託量の増加	t/年	25,169	28,000	28,000	28,000
9	化学物質の削減	ℓ/年	115.8	119.0	119.0	119.0

※ 受電電力量、重油使用量、温室効果ガス排出量の基準値は、集計方法変更のため、グラフの実績値と異なる。

各年度目標値に対しての達成度　　目標達成　目標未達

※ 達成判定は90%以上とする

No.	項　目	単　位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	6.3	6.7	80.6	43.6	2.81
2	重油使用量の削減	ℓ/t	2.05	1.44	1.03	0.30	0.29
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	3.24	3.09	2.76	3.19	2.65
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.35	0.26	0.31	0.31	0.30
5	上水使用量の削減	㎥/t	0.51	0.34	0.27	0.23	0.30
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO_2/t	16.1	16.3	48.4	30.2	8.4
7	発電電力量の増加	kWh/t	235.5	220.2	64.3	129.2	197.9
8	廃棄物受託量の増加	t/年	27,960	27,333	26,146	23,827	25,169
9	化学物質の削減	ℓ/年	89.1	98.0	106.9	115.8	106.9

9. 環境活動の結果と評価

1. 受電電力量の削減

2023 年度　目標　0.35kWh/t
2023 年度　実績　2.81kWh/t
2023 年度　総量　75,300kWh
達成率　12.5%（未達）

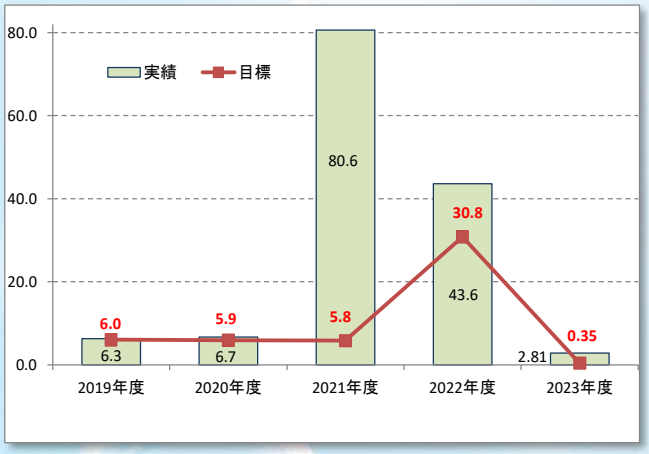
NG

取組内容

・こまめに電気を消す。
・安定した燃焼管理をし、発電出力を維持することにより受電の削減を行う。
（※故障中の蒸気タービン発電機が、９月から稼働することとして目標値を設定）

活動結果と評価

・故障等によりタービンによる発電を停止していた期間があり未達になった。
・またヒーターを使用する冬季も数値が高くなる傾向があった。



＜ 2024 年度　目標　7.50kWh/t ＞

取組内容

・集計方法の変更に伴い目標値の再設定を実施。
・ピット内及び投入ゴミの熱量の均一化による安定燃焼で効率的な発電を行う。

2. 重油使用量の削減

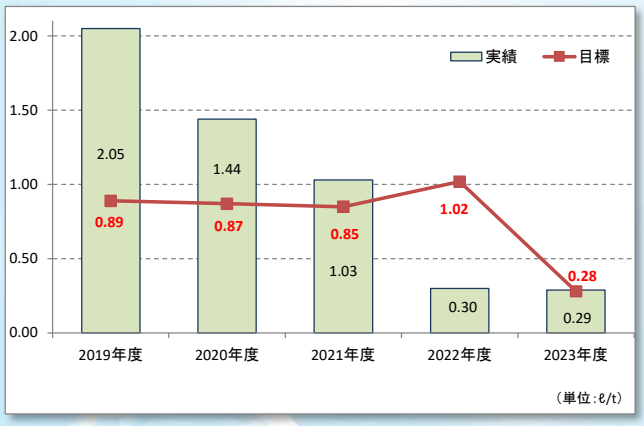
2023 年度　目標　0.28ℓ / t
2023 年度　実績　0.29ℓ / t
2023 年度　総量　7,878ℓ
達成率　95.2%（達成）

取組内容

・焼却炉へ常に適切な量のごみの供給をし、炉温低下を防ぎバーナー使用による重油使用を抑える。

活動結果と評価

・前回同様に適切にゴミを供給でき、重油削減を行うことができた。



＜ 2024 年度　目標　0.98ℓ / t ＞

取組内容

・集計方法の変更に伴い目標値の再設定を実施。
・安定的な燃焼温度管理により重油使用量を抑え、助燃使用や緊急立下げを減少させる。

3. 軽油使用量の削減

2023 年度　目標　3.16ℓ / t
2023 年度　実績　2.65ℓ / t
2023 年度　総量　71,025ℓ
達成率　119.2%（達成）

取組内容

・圧縮施設の稼働開始により、重機等の台数が増えている中で削減するため、重機、破砕機の作業時間の短縮等、運用の変更を検討する。

活動結果と評価

ピット保管量を見て、破砕が必要ないときは破砕機を使用しなかった。また重機のアイドリング不要な作業をしないように努めた。

＜ 2024 年度　目標　2.80ℓ / t ＞

取組内容

・廃棄物保管量に応じた適正な前処理作業の効率化を図り、軽油使用量を削減する。
・休憩開始時の声掛けによる重機等のエンジン停止忘れを防止する。

4. ガソリン使用量の削減

2023 年度　目標　0.26ℓ/ｔ
2023 年度　実績　0.30ℓ/ｔ
2023 年度　総量　7,673ℓ
達成率　85.3%（未達）

NG

取組内容

・セーフティードライブ及びエコドライブを常に意識し、運航計画に基づいた運転に務める。

活動結果と評価

・受入量確保のため営業活動等の増加により、社用車の使用頻度増加に起因した結果と考える。
・今後も社用車の使用頻度が増していく中であっても、エコドライブの徹底を中心にガソリン使用量の削減に努める。

＜ 2024 年度　目標　0.26ℓ/ｔ ＞

取組内容

・ｅスタート（ふんわりアクセル）の実施 → やさしい発進で 10%程度の燃費改善
・加速・減速の少ない運転 → 車間距離が短く無駄な加速・減速で 2～6%程度の燃費悪化
・適切なエアコンの使用 → 冷やしすぎ温めすぎで 12%程度の燃費悪化

5. 上水使用量の削減

2023 年度　目標　0.23㎥/ｔ
2023 年度　実績　0.30㎥/ｔ
2023 年度　総量　8,002㎥
達成率　77.0%（未達）

NG

取組内容

・雨水の有効利用と水槽レベル監視強化により、上水使用量を削減する。

活動結果と評価

・配管埋設部分に泥溜まりが発生し未達となったが。後半は原因が判明し改善され、前期 0.31 ㎥/ｔから通期 0.30 ㎥/ｔとなり、上水の使用量を改善することができた。

＜ 2024 年度　目標　0.22㎥/ｔ ＞

取組内容

・調整池の水の活用と水槽レベルの監視を徹底することにより、上水の使用量削減に努める。

6. 温室効果ガス排出量の削減

2023 年度　目標　 13.4 kg-CO_2/ t
2023 年度　実績　 8.4 kg-CO_2/ t
2023 年度　総量　 223.9 t -CO_2
達成率　160.4%（達成）

OK

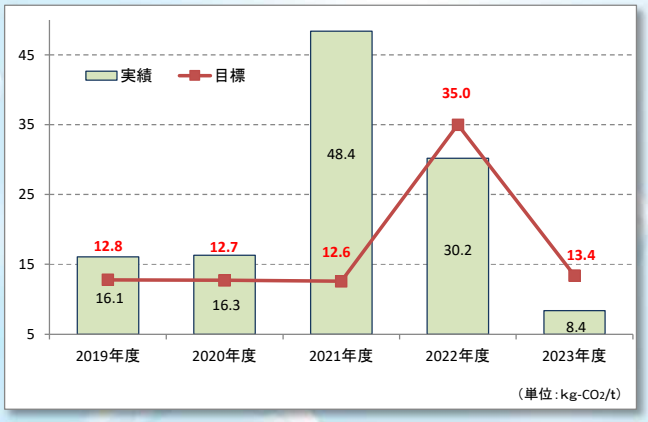
取組内容

・蒸気タービン発電機の早期復旧、各燃料類の使用量を削減し、CO_2 削減に努める

活動結果と評価

・軽油、重油使用量を削減できたことが目標達成の大きな要因となった。受電、ガソリンについては未達となったので、安定した発電の継続、エコドライブの実践等で改善していきたい。

令和５年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数 0.020 kg-CO_2/kWh とする



＜ 2024 年度　目標　12.2 kg-CO_2/ t ＞

取組内容

・集計方法の変更に伴い、目標値の見直しを行った。
・前年度達成率の悪かった受電量削減について重点的に状況把握を行いつつ、トータルの燃料使用量を把握する。

7. 発電電力量の増量

2023 年度　目標　 224.4kWh/t
2023 年度　実績　 197.9kWh/t
2023 年度　総量　 5,303,020ｋWh
達成率　88.2%（達成）

NG

取組内容

・早期の蒸気タービン発電機の稼働を目指す。
・稼働後は、効率的な運転を心がけて、発電電力量の増量に務める。

活動結果と評価

・安定した焼却炉の運転が出来なかったことや、焼却炉の運転自体が停止していたことが原因で、目標発電量に届かなかった。

＜ 2024 年度　目標　229.0ｋWh/ t ＞

取組内容

・燃焼負荷を安定させることにより発電電力増量を目指す。
・廃棄物性状の均一化を図り、焼却炉及び蒸気タービン発電機の負荷変動を最小限に留める。

8. 廃棄物搬入量の増量

2023 年度　目標　30,000 t
2023 年度　実績　25,169 t
達成率　83.9%（未達）

NG

取組内容

・排出者に対し、当社の処理施設を活用した「環境に対する課題解決」の提案を行う
・ゼロエミッション、セメント原燃料化を推進し安定した物量増加を狙う

活動結果と評価

・解体工事が少なく県内の廃棄物が年々減少している状況であった。
・熱回収認定を取得し県外の情報収集もしているが、単価と物量が見合わず結果につながらなかった。

＜ 2024 年度　目標　28,000 t ＞

取組内容

・情報収集、スポット案件、処理困難物案件の獲得、県外営業も行い、廃棄物増量を目指す。

9. 化学物質の削減

2023 年度　目標　119.0ℓ
2023 年度　実績　106.9ℓ
達成率　111.3%（達成）

OK

取組内容

・ボイラーの運転状況を把握、監視し、薬品を適正な量で投入する。

活動結果と評価

・薬品の適性投入により、目標達成することができた。

＜ 2024 年度　目標　119.0ℓ ＞

取組内容

・日常点検でボイラー水の水質等の監視に注力し、清缶剤の適正投入を行う。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規への違反はありません。関係当局より違反等の指摘もありません。

11. 代表者による全体の評価と見直し

1.結果に対する評価
PDCA サイクルを意識して改善に取り組むこと。

2.全体の見直し
達成の結果だけに拘ることなく、実践した取組みに対して具体的な評価を行うこと。また、特に目標値と実績値に乖離のある項目については要因を検証し、必要に応じて設定目標値や取組み方法の見直しを図ること。

3.次期取組みへの指示
目標とする項目は継続とするが、見直した評価結果を基に改善した内容を全従業員に周知すること。

12. イベント、セミナー、教育等

イベント関係

実　施　日	実　施　項　目	実　施　内　容
８月７日	環境整備活動	九戸インターから会社までのゴミ拾い活動
８月８日	水生生物調査	九戸村 瀬月内川の水生生物調査 岩手県資源循環協会県北支部と岩手県環境保全課との共催
８月 24 日	事業報告会（環境報告会）	地域住民･県内企業を対象とした事業報告会
９月９日	野外音楽フェスティバル「チキンソニック」出店	ブース内で「射的」と「綿あめ販売」を実施
10 月 28、29 日	九戸村産業まつり 出店	ブース内で「射的」と「綿あめ販売」を実施

セミナー・講習会

実　施　日	実　施　項　目
2023 年８月、11 月	職長・安全衛生責任者教育
2023 年９月	就業環境整備改善支援セミナー
2023 年９月	安全衛生推進者養成講習
2023 年 10 月	中央職業能力開発協会　３級労務管理
2023 年 10 月	労働衛生研修会
2023 年 11 月	エコスタッフ養成セミナー
2023 年 11 月	普通救命講習１

教育・訓練

実　施　日	実　施　項　目
2023 年４月、2024 年２月	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習
2023 年５月	足場組立て等業務特別教育
2023 年５月、６月	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習
2023 年５月、８月、９月	車両系建設機械（解体）運転技能講習
2023 年６月、10 月、12 月	有機溶剤作業主任者技能講習
2023 年６月、11 月	はい作業主任者技能講習
2023 年８月	産業廃棄物処理実務者研修会
2023 年７月、10 月	玉掛け技能講習
2023 年７月、９月	小型移動式クレーン運転技能講習
2023 年 11 月	産業廃棄物処理優良事業者育成研修会（応用コース）
2023 年 11 月	CSR 教育

村のゴミ拾いイベント参加

毎年４月に開催される九戸村のゴミ拾いイベント「クリーン九戸行動日」に参加しています。2023 年度は社員 20 名、社員の家族６名で参加しました。

お盆前の環境整備活動

お盆の前に九戸インター入口～道の駅おりつめ敷地内～工業団地入口までの県道 約 1.6 ㎞のゴミ拾いを社員 14 名で実施しました。帰省客や近隣の方に気持ちよくお盆を迎えてもらいたいと思い、毎年実施しています。

小学校・高校生の見学

当社では、排出者や地域の方々に積極的に施設見学を受け入れております。

小学校の社会科見学や、中学・高校生の環境学習への協力も行います。事前予約が必要ですので、お気軽にお問い合わせください。

社員教育の定期実施

廃棄物処理法や県との取り決めによる施設の維持管理マニュアルの教育、救急救命や安全作業、火災発生時の初期消火や避難訓練、廃棄物の漏洩防止訓練など、多くの社内教育を定期的に実施し、従業員の安全はもちろん、地域の皆様に安心していただけるよう努めております。

熱回収施設設置者認定 取得

2023 年 9 月、熱回収施設設置者認定制度に申請し、認定されました。これにより、品目を問わずに廃棄物をサーマルリサイクルの燃料として、圏域(青森県および秋田県)以外からの搬入が可能となりました。

優良産廃処理業者認定制度 認定取得

2024 年 1 月 7 日、環境省の「有料産廃処理業者認定制度」の認定を取得しました。引き続き法令順守や情報公開に努めてまいります。

家庭ごみの無料受入

昨年に引き続き、2024 年 2 月 16 日から 29 日の間、地域貢献として、当社が立地する九戸村にお住まいの方限定で、第 2 回 家庭ごみの無料受入を実施しました。結果 638 台 76.6 t の受入量となり、多くの方に喜んでいただきました。

また下記のとおりありがたい声をいただきました。今後も「あの会社があって良かった」と言ってもらえるよう、積極的に地域貢献に努めてまいります。

切ったり、縛ったり、袋に入れたりしなくてもいいからホント助かった♪

ずっと出せずに困っていたゴミが片付いてスッキリしたよ！

何年も使っていないものを、思い切って捨てることができた！

きれいな村にしてくれてありがとう！すっきり気持ちが良くなった！

ありがたい企画だ！最高の地域貢献だ！

13. 資格・免許・認定

	資　　格　・　取　　得	取得者数
ＥＣＯ	エコスタッフ講習	２名
	環境社会検定試験（ＥＣＯ検定）	３名
	エコドライブ講習	１名
管理士	産業廃棄物処理施設技術管理士	２名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	２名
	破砕・リサイクル施設技術管理士	１名
廃棄物	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	３名
	特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習（処分業課程）	１名
	特別管理産業廃棄物処分業の許可申請に関する講習（収集・運搬業課程）	２名
	産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース	14名
ボイラー	第２種ボイラー・タービン主任技術者	１名
	１級ボイラー技士	９名
	２級ボイラー技士	11名
	ボイラー整備士	１名
	ボイラー取扱業務従事者安全衛生教育	１名
電気	第二種電気工事士	５名
	低圧電気取扱者教育	３名

	資　　格　・　取　　得	取得者数
危険物	甲種防火管理者	２名
	乙種第１類危険物取扱者	２名
	乙種第２類危険物取扱者	４名
	乙種第３類危険物取扱者	１名
	乙種第４類危険物取扱者	19名
	乙種第５類危険物取扱者	１名
	乙種第６類危険物取扱者	３名
	丙種危険物取扱者	６名
技能講習・クレーン	高所作業車運転技能講習	５名
	車両系建設機械（整地等）	22名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	20名
	フォークリフト技能講習	24名
	玉掛け技能講習	15名
	ガス溶接技能講習	18名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	18名
	有機溶剤作業主任者技能講習	18名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	13名
	小型移動式クレーン運転技能講習	７名
	床上操作式クレーン運転技能講習	１名
	クレーン運転業務特別教育	18名
特別教育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育	１名
	ダイオキシン類特別教育	32名
	安全衛生推進者養成講習	４名
	アーク溶接特別教育	16名
	粉じん作業特別教育	１名
	チェーンソー伐木業務特別教育	３名
	普通救急救命講習	42名
	自由研削用といし作業特別教育	５名
	刈払い機作業安全衛生教育	２名

【 所在地案内図 】

いわて県北クリーン株式会社

（Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.）